

第6回 臨床遺伝診療室セミナー

# 「ゲノム医療の時代における 遺伝情報の取り扱い」

京都大学医学部附属病院遺伝子診療部／倫理支援部  
京都大学大学院医学研究科 社会健康医学系専攻  
医療倫理学・遺伝医療学分野



**演者** ▶ **山田 崇弘 先生**

次世代シーケンサーの臨床実装によって網羅的にゲノム情報が実臨床に用いられるようになってきた。今年のがんゲノム医療が保険収載され、まさにゲノム医療時代の到来であるが、その取り扱いには制度上成熟していないことは多い。遺伝情報は、その特性として1) 不変性と個人特定性、2) 共有性、3) 予見性といった点があり、慎重に扱う必要があるのは言うまでもないが、適切な情報共有がなされないことへの危惧から遺伝子例外主義への批判も多い。本講演では医療倫理の側面からゲノム医療の時代における遺伝情報のあり方について取り扱ってみたい。

**日時**

**2019年11月15日** **金**

午後5時30分から

**場所**

**シミュレーション講義室1  
(教育医療棟6階)**

本セミナーは、「大学院共通カリキュラム基本医科学講義」として認定を受けており、  
受講により単位取得が可能です。

主催：獨協医科大学病院 臨床遺伝診療室

公衆衛生学講座

共催：獨協医学会

お問い合わせ：0282-87-2133